学校の適正規模・適正配置に関するアンケートについて

調査概要

調査対象	配布数	回収数	回収方法		回収率
			郵送	WEB	
小中学校保護者向け	3,500	1,912	827	1,085	54.6%
未就学児保護者向け	1,800	1,003	540	463	55.7%
一般市民向け	2,000	718	621	97	35.9%
教職員向け	-	239	-	239	

◇配付・回収状況（配付 6/16～6/20、締切：7/10）

学校の「規模」について

問. お子さまの学年の学級数について、どう感じていますか（SA）

⇒全体では「ちょうどよい」が約7割となっている。一方、黒内小学校では、「多すぎる」が約7割となっており、小学校2年生では9割に達している。

図表 1 子どもの学年の学級数について（小学校の保護者・クロス集計）

	件数	少なすぎる	ちょうどよい	多すぎる
全体	1,904	9.8	70.8	19.4
黒内小学校	406	1.0	29.3	69.7
小学2年生	165	-	8.5	91.5
小学4年生	128	1.6	35.2	63.3
小学6年生	112	1.8	52.7	45.5
黒内小以外の小学校	986	18.0	78.9	3.1
小学2年生	334	18.3	79.3	2.4
小学4年生	298	15.4	80.9	3.7
小学6年生	333	20.7	76.0	3.3

問. 児童生徒数や学級数が多すぎる「大規模校」のデメリットとして、以下のよ
うな点が考えられます。各項目について、あなたの感じ方をお答えください
(SA)

⇒大規模校のデメリットを点数化した平均値をみると、保護者向けでは「教職員
が、一人ひとりの管理を十分にしづらい」が最も高く、教職員では「一人ひとり
の発表や活躍の機会が制限される」が最も高い。

黒内小学校では、「学級数が多く、体育館や音楽室などの利用で制約を受ける」
が高くなっている。

図表 2 大規模校のデメリットについて

	件数	①一人ひとりの 発表や活躍の機会 が制限される	②教職員が、 一人ひとりの管理 を十分にしづらい	③教職員間での 連絡調整が 図りづらい	④学級数が多く、 体育館や音楽室 などの利用で 制約を受ける
小中学校保護者向け・全体	1,906	3.11	3.43	3.15	3.35
黒内小学校	522	3.19	3.32	3.10	3.56
黒内小学校以外の小学校	500	3.13	3.49	3.19	3.34
未就学児保護者向け・全体	1,000	3.20	3.57	3.30	3.53
黒内小学校	446	3.24	3.52	3.29	3.67
黒内小以外	323	3.16	3.61	3.29	3.43
教職員・全体	239	3.55	3.31	3.05	3.18
黒内小学校	41	3.44	3.27	2.88	3.22
黒内小学校以外の小学校	137	3.62	3.26	2.96	3.14

※黒内小以外に比べ0.1ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. 大規模校となった場合、やむを得ず以下のような対応が必要となるケースがあり
ます。この中から、あなたが最も望ましいと考える対応策をお選びください (SA)

⇒小中学校の保護者および教職員では「通学区域の変更で対応する」が最も高
く、未就学児保護者および一般市民では「他の学区への通学を認める」が最
も高い。黒内小学校では「通学区域の変更で対応する」が高い傾向にあり、
なかでも教職員では 8 割弱に達している。

図表 3 大規模校の対応策 (クロス集計)

(単位: %)

	件数	通学区域の変更で 対応する	施設(学校)の増改 築で対応する	他の学区への 通学を認める	その他
小中学校保護者向け・全体	1,904	43.6	14.3	40.2	1.8
黒内小学校	406	45.1	16.7	34.5	3.7
黒内小学校以外の小学校	987	41.1	13.7	43.8	1.4
未就学児保護者向け・全体	999	36.1	15.3	45.8	2.7
黒内小学校	400	37.0	16.8	41.0	5.3
黒内小以外	589	35.7	14.1	49.2	1.0
一般市民・全体	703	39.4	13.4	45.0	2.3
教職員・全体	233	61.8	15.9	22.3	0.0
黒内小学校	41	78.0	4.9	17.1	0.0
黒内小学校以外の小学校	133	56.4	22.6	21.1	0.0

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. 今後、市内の大規模校について、対策として「通学区域の変更」がどうしても必要となる可能性があります。その場合のあなたの考え方に最も近いものをお選びください (MA)

⇒「学区変更はやむを得ないが、通学時間や通学時の安全性などに配慮してほしい」が最も高く、次いで「大規模校のデメリットを考えると、通学区域の変更を推進すべき」となっている。

図表 4 大規模校における通学区域変更への考え方 (小学校の保護者・クロス集計)

(単位: %)

		件数	大規模校のデメリットを考えると、通学区域の変更を推進すべき	学区変更はやむを得ないが、通学時間や通学時の安全性などに配慮してほしい	市(教育委員会)が適切な学区変更案を提示してくれるだろうから、その決定に従う	通学区域の変更は避けるべき。大規模校となっても、他の手法で対応すべき	その他
全体		1,902	18.5	69.0	6.2	4.4	1.9
学校名	黒内小学校	404	19.6	63.1	6.2	7.2	4.0
	黒内小学校以外の小学校	987	18.4	69.2	6.8	3.9	1.7

問. 今後、少子化の進行により小規模な学校が増えることが予想されます。そうした状況も踏まえて、あなたが考える1学年当たりの「①望ましい学級数」を、以下の選択肢の中からお選びください (SA)

⇒「望ましい学級数」では、「3学級」、「4学級」が高い。

図表 5 望ましい学級数

(単位: %)

	件数	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級以上
小中学校保護者向け・全体	1,896	0.4	8.3	41.4	32.1	12.4	4.9	0.5
黒内小学校	404	0.2	1.5	34.2	45.5	16.1	1.7	0.7
黒内小学校以外の小学校	983	0.6	14.5	54.9	25.4	3.1	1.4	0.0
未就学児保護者向け・全体	991	0.4	9.6	57.5	26.1	4.9	1.0	0.4
黒内小学校	398	0.0	4.0	52.8	32.2	8.8	1.8	0.5
黒内小以外	584	0.5	13.5	60.6	22.3	2.4	0.3	0.3
教職員・全体	239	0.0	13.4	52.7	29.3	3.8	0.8	0.0
黒内小学校	41	0.0	9.8	75.6	12.2	2.4	0.0	0.0
黒内小学校以外の小学校	137	0.0	20.4	61.3	18.2	0.0	0.0	0.0

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

学校の「配置」について

問. 学校によっては学区が広いため、現実的に通学時間・通学距離が長くなるケースも生じています。許容できる通学時間・通学距離は、どのくらいだと考えますか (MA)

⇒ 「許容できる通学時間」では、「30分以内」までの回答割合が高い。なお、(小中学生の保護者では) 通学時間が20分を超えると半数以上が「通学時間が長い」と感じている。

図表 6 許容できる通学時間 (クロス集計)

(単位: %)

	件数	10分以内	20分以内	30分以内	40分以内	それ以上でも可 (40分超)
小中学校保護者向け・全体	1,898	6.5	49.9	38.1	4.9	0.5
黒内小学校	403	5.7	51.9	37.7	4.2	0.5
黒内小学校以外の小学校	983	7.4	48.3	37.7	6.0	0.5
未就学児保護者向け・全体	998	8.3	53.3	33.5	3.9	1.0
黒内小学校	400	6.3	57.3	31.0	4.0	1.5
黒内小以外	588	9.2	50.9	35.5	3.9	0.5
一般市民・全体	704	7.8	45.3	41.1	4.1	1.7
教職員・全体	239	0.4	30.5	56.1	12.6	0.4
黒内小学校	41	2.4	26.8	58.5	12.2	0.0
黒内小学校以外の小学校	137	0.0	29.9	56.2	13.9	0.0

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

図表 7 (参考) 通学時間・通学距離について (小中学生の保護者・通学時間クロス)

(単位: %)

		件数	長い	ちょうどよい	短い
全体		1,893	13.4	77.0	9.6
通学時間	10分以内	722	0.4	76.0	23.5
	20分以内	905	11.4	87.6	1.0
	30分以内	208	51.0	48.6	0.5
	40分以内	38	81.6	18.4	0.0
	40分超	10	100.0	0.0	0.0

※全体に比べ5%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. 通学距離が長く、許容できる通学時間を超える児童生徒がいる場合、どのような配慮が必要だと考えますか (MA)

⇒「スクールバスを運行する」が高い傾向にあり、黒内小学校では9割程度に達している。

図表 8 通学時間・距離が長い児童生徒への配慮 (クロス集計)

(単位: %)

	件数	スクールバスを運行する	バス等の公共交通機関の利用を認める	自転車の利用を認める(拡大する)	通学距離が長くても徒歩で構わない	その他
小中学校保護者向け・全体	1,902	77.7	34.3	34.1	6.0	4.0
黒内小学校	405	90.4	25.2	16.8	7.2	4.0
黒内小学校以外の小学校	983	79.6	34.3	25.1	7.6	5.1
未就学児保護者向け・全体	1,000	89.5	36.3	23.8	5.2	7.6
黒内小学校	401	93.8	29.9	21.9	5.5	7.5
黒内小以外	589	86.6	40.2	25.3	5.1	7.8
一般市民・全体	714	60.6	52.4	61.9	4.1	2.5
教職員・全体	239	72.8	45.2	33.9	7.9	0.0
黒内小学校	41	87.8	48.8	9.8	9.8	0.0
黒内小学校以外の小学校	137	75.9	46.0	21.9	9.5	0.0

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. 学校の適正配置・学区の設定を検討するうえでは「①通学距離」、「②通学時間」、「③通学時の安全性」、「④自治会・町内会の一体性」、「⑤適正な児童・生徒数、学級数」などの要素を考慮していく必要があります。①～⑤のなかで、あなたが最も重視すべきと考える要素、2番目、3番目、4番目に重視すべきと考える要素をお答えください。

⇒最も重視すべき要素では、「通学時の安全性」が高い傾向にある。黒内小学校では「適正な児童・生徒数、学級数」が重視されている。

図表 9 学校の適切配置・学区設定において重視すべき要素 (点数化)

	①通学距離	②通学時間	③通学時の安全性	④自治会・町内会の一体性	⑤適正な児童・生徒数、学級数
小中学校保護者向け・全体	2.2	2.3	3.2	1.4	2.4
黒内小学校	2.2	2.3	3.2	1.5	2.5
黒内小学校以外の小学校	2.2	2.3	3.3	1.4	2.3
未就学児保護者向け・全体	2.1	2.3	3.3	1.4	2.4
黒内小学校	2.0	2.3	3.2	1.5	2.6
黒内小以外	2.2	2.3	3.4	1.4	2.3
一般市民・全体	2.1	2.3	3.4	1.7	2.4
教職員・全体	1.9	2.1	3.1	1.4	3.4
黒内小学校	1.5	2.1	3.4	1.5	3.5
黒内小学校以外の小学校	2.0	2.2	3.0	1.3	3.2

※黒内小以外に比べ0.2ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. 仮に、お子さまの学校の学区以外の場所に、特別な教育に特化した公立の小中学校が設置された場合、お子さまを通わせたいと考えますか (MA)
 ⇒ 「通わせたい」が約3割、「検討したい」が約6割となっている。

図表 10 特別な教育に特化した公立の小中学校への通学意向 (クロス集計)

(単位: %)

	件数	通わせたい	検討したい	学区以外の学校には通わせたくない
小中学校保護者向け・全体	1,901	27.8	56.7	15.5
黒内小学校	404	26.2	58.7	15.1
黒内小学校以外の小学校	983	29.8	54.4	15.8
未就学児保護者向け・全体	1,000	30.9	59.6	9.5
黒内小学校	400	35.3	58.0	6.8
黒内小以外	590	27.8	60.7	11.5

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし

問. どのような学校なら通わせたいですか (MA)

※対象: 前問で『通わせたい』、『検討したい』と回答した人のみ

⇒ 「国際的な感覚、グローバルな視野を育む学校」が最も高く、次いで「STEAM教育を中核とした学校」となっている。黒内小学校では「STEAM教育を中核とした学校」がやや高くなっている。

図表 11 通わせたい学校 (クロス集計)

(単位: %)

	件数	国際的な感覚、グローバルな視野を育む学校	理数系に特化した学校	プログラミングなどICTに特化した学校	スポーツに特化した学校	STEAM教育を中核とした学校
小中学校保護者向け・全体	1,577	42.8	4.3	10.7	7.3	31.6
黒内小学校	338	39.9	3.6	9.5	3.8	39.3
黒内小学校以外の小学校	810	44.0	3.7	10.9	7.8	30.2
未就学児保護者向け・全体	880	44.1	2.6	8.5	6.1	34.7
黒内小学校	362	41.7	4.4	6.9	5.0	37.6
黒内小以外	509	45.8	1.4	9.6	7.1	32.8

※黒内小以外に比べ10%ポイント以上多い項目を塗りつぶし